

## 第1号議案

# 平成29年度 事業報告

### 1. 通常総会

第58回通常総会は、平成29年5月26日（金）アルカディア市ヶ谷において開催し、出席者は委任状とも1,532名で、定款第17条に規定する定足数に達した。

定款第15条の定めにより、本総会の議長は会長がこれにあたるとしており、西山会長を議長とし、議事の審議にあたった。

#### (1) 議 事

議事録署名人については、定款第19条により、議長および議長が指名する出席者2名以上としており、出席正会員の中から宇治公隆氏および手塚正道氏の2名が指名され、平成28年度事業報告、同収支決算報告、役員改選はいずれも原案どおり承認議決された。

また、平成29年度事業計画、同収支予算についての報告があり、いずれも了承された。

#### (2) 名誉会員推挙

魚本健人殿、則久芳行殿、藤田堯雄殿が名誉会員に推挙された。

#### (3) プレストレストコンクリート工学会賞授与

平成28年度（第44回）受賞は論文部門2件、作品部門5件、技術開発部門3件、施工技術部門1件の計11件である。

#### ○ 論文部門

- 二方向の変形を考えた場合のPC柱断面の損傷度に関する考察 (会誌第58巻4号) 米澤哲尚殿 岸本一蔵殿

- 超高耐久橋梁の開発と実証橋の施工 (会誌第58巻2号) 緒方辰男殿 大城壮司殿 永元直樹殿 片健一殿

#### ○ 作品部門

- 新名神武庫川橋 西日本高速道路(株) 関西支社殿 三井住友建設(株)殿
- 日亜化学工業 諏訪技術センター 日亜化学工業(株)殿 (株)竹中工務店殿

- 愛知総合工科高等学校
 

	愛知県	殿
	(株)久米設計	殿
	戸田建設(株)	殿
	名工建設(株)	殿
	(株)ピーエス三菱	殿
  
- 愛知県警察本部庁舎本館  
(改築・改修)
 

	愛知県警察本部	殿
	(株)日建設計	殿
	鹿島・徳倉建設共同企業体	殿
	(株)ピーエス三菱	殿
  
- 首都高速1号羽田線 勝島地区橋梁  
(改築・改修)
 

	首都高速道路(株)	殿
	(株)ピーエス三菱	殿
  
- 技術開発部門
  - 光ファイバを用いたPC張力計測システム
 

	鹿島建設(株)	殿
	住友電工スチールワイヤー(株)	殿
	ヒエン電工(株)	殿
  
  - プレストレスを導入した木圧着ブレースによる耐震補強工法
 

	熊谷孝文	殿
	松田拓己	殿
	奥野雄一郎	殿
	大野正人	殿
	山下靖彦	殿
	張 之隼	殿
	畔柳 歩	殿
	上角充広	殿
  
  - PC中間定着工法 (アイ・フィクス)
 

	川田建設(株)	殿
--	---------	---
  
- 施工技術部門
  - 新名神高速道路 朝明川橋他1橋 (鋼・PC複合上部工) 工事
 

	中日本高速道路(株) 名古屋支社	殿
	(株)IHIインフラシステム・川田工業(株)・川田建設(株)特定建設工事共同企業体	殿

以上の賞について、西山会長より論文部門、作品部門、技術開発部門および施工技術部門受賞者に賞状と副賞として記念盾がそれぞれ授与された。

## 2. 理 事 会

通常理事会を10回（8月，2月を除く毎月），臨時理事会を1回（5月）開催した。  
議事録要旨は会誌の工学会記事欄に記載しており，省略する。

## 3. 会誌等の発行

会誌は隔月に6回計20,800部を発行した。

## 4. 委 員 会

### 【常設委員会】

#### (1) 総務委員会

総務委員会を5回開催した。平成29年4月に平成28年度事業報告案ならびに同収支決算案を審議した。6月は役員の職務分担について検討を行った。平成30年3月は，役員人事，名誉会員推挙について検討し，平成30年度事業計画案および同収支予算案を審議した。

#### (2) 会誌編集委員会

委員会を11回（8月を除く毎月）開催した。会誌「プレストレストコンクリート」を年6回発行した。第59巻4号，6号，第60巻2号は特集号とし，それぞれ「建築特集」，「PC構造物における産業副産物の有効活用」，「新名神高速道路（神戸～高槻）」を企画特集した。第60巻1号より，会誌の表紙を刷新し，カラーグラビアのページを設けた。「フレッシュマンのためのPC講座（増補改訂版）」の増刷に向け校正作業を行った。

#### (3) ナショナルレポート編集委員会

平成30年10月にメルボルン（オーストラリア）で開催される第5回 *fib* コンgressに向けて，日本を代表するコンクリート構造物を広く海外へ紹介するための冊子「National Report of Japan on Structural Concrete - The 5th International *fib* Congress 2018, Melbourne, Australia-」を公益社団法人日本コンクリート工学会（以下，JCI）と初めてとなる共同で編纂するため，ナショナルレポート編集委員会を4回，JCIとの合同幹事会を3回開催した。

#### (4) シンポジウム実行委員会

委員会を5回，全体会議を1回，幹事会を1回，論文審査部会を1回，総務・広報・学術・現地WGを合計14回開催し，兵庫県神戸市の神戸ファッションマートにおける第26回シンポジウムの企画と運営を行った。また，平成31年の開催地を愛知県名古屋市で行うことを決定した。平成29年11月からは，愛媛県松山市のひめぎんホールで開催する第27回シンポジウムの準備に取りかかった。

#### (5) PCサステナビリティ委員会

サステナビリティの観点から，プレストレストコンクリート技術の役割，課題，目指すべき活動の方向性等について取りまとめたプレストレストコンクリートサステナビリテ

イ宣言文を第58回通常総会において公表し、冊子を配布した。同時にホームページへの掲載と、さらに、6月の技術講習会、10月の第26回シンポジウムにおいて宣言文の配布を行った。サステナビリティ宣言の広報活動と継続的評価および見直しを行っていくため、委員会を4回開催した。会誌60巻1号に委員会活動報告を投稿した。

#### (6) PC技術規準委員会

平成29年度は、既刊の本工学会技術規準等を定期的に見直していくため、PC技術規準改訂小委員会とコンクリート構造設計施工規準改訂小委員会を立ち上げた。また、PC橋の維持管理マニュアル作成委員会の最終年度にあたるため、これらを中心に委員会を3回、幹事会を2回開催した。

##### 1) PC技術規準改訂小委員会

平成28年12月に常設の委員会として設置が承認され、平成29年9月に設立した。平成29年度は、次年度改訂を予定する規準の委員会についてメール審議を行った。

##### 2) 規準・指針の国際展開小委員会

Bulletin30 「Cable Supported Structures」の改訂作業、抄訳を継続して行った。

##### 3) PC橋の維持管理マニュアル作成委員会

斜張橋、エクストラドーズド橋および複合橋も含めた、PC橋の維持管理に関する具体的な手法を明らかにしたマニュアル策定を目的とした委員会であり、平成27年度から継続して委員会を実施している。平成29年度には委員会2回、幹事会7回を開催し、マニュアルの全体構成および各章の具体的な記述内容、最終構成について討議を行い、マニュアルを取りまとめ策定した。

##### 4) コンクリート構造設計施工規準改訂小委員会

平成29年12月に第1回委員会を開催し、作業部会で準備してきた規準改訂(案)について審議を行った。年度内に計2回の委員会を開催し、規準の改訂(案)の取りまとめを行った。

#### (7) PC鋼材委員会

委員会を開催し、国立研究開発法人土木研究所より、道路示方書の改定に関してコンクリート橋やケーブル部材を中心に、改定に関する概要説明があり、一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会より、PC橋におけるシース周辺のコンクリート温度に関する調査結果の報告があった。また、ポリエチレン被覆PC鋼より線の性能および活用事例に関する報告があり、討議を行った。会誌第60巻4号に掲載した「講座 知っておきたいPC材料 第6回 PC鋼材」を執筆した。

#### (8) PC技士委員会

委員会を1回、各小委員会を10回開催し、第24回プレストレストコンクリート技士試験に

関する諸準備を整え、平成29年10月15日（日）に東京、大阪、福岡の3会場において一斉に試験を実施し、11月28日に合否の判定を行った。

(9) コンクリート構造診断士委員会

委員会を1回、各小委員会ならびに各WGを11回開催した。コンクリート構造診断技術講習を講習会からweb上でのeラーニング講習に変更した。第11回コンクリート構造診断士試験を平成29年7月9日（日）に東京、大阪、福岡の3会場で実施し、10月13日に合否の判定を行った。

(10) PC技術講習会委員会

今年度よりPC技術講習会小委員会を新設し、講習会のテーマ、講習内容、講師などの選定を十分に審議し決定した。第46回PC技術講習会のテーマを「日本の誇れるPC技術」として5題の講演題目を設定した。また、全国9会場において、各地域の有識者による特別講演を設定した。

(11) 国際委員会

1) 国際対応小委員会

PC工学会の国際化を進めるための企画・提言を行うこと、ならびに日本のPC技術を海外へ情報発信することを目的に、平成29年度は委員会を5回開催し、以下の活動を行った。

- ① 本工学会英文ホームページの更新
- ② 海外学協会との連携について検討
- ③ 日本のPC技術の海外普及策等についての検討
  - ・ 規準類の英語化および海外への普及についての検討
  - ・ 本工学会出版の英語版規準・指針類の2018ナショナルレポートへの紹介文作成
  - ・ PCシンポジウムの国際化についての検討
- ④ *fib* Commission 1, *fib* Commission 5に参加
- ⑤ ベトナムITSTとのワークショップの開催（平成29年9月18日～21日、ダナン）
- ⑥ ミャンマーとの技術交流の検討
- ⑦ PCシンポジウムの海外からの特別講演者招聘計画および対応
- ⑧ PC技術講習会テキストの作成および講習会講師

2) 国際活動関係

① *fib* Presidium

平成29年2月17日、18日、スイス連邦工科大学ローザンヌ校内の*fib*本部で開催されたPresidium（最高幹部会）に春日昭夫理事が出席、平成29年9月30日～10月1日、ブラジルのサンパウロで開催されたPresidiumに春日昭夫理事が出席した。

② *fib* 総会

平成29年6月11日にオランダのマーストリヒトで開催された総会に、春日昭夫理事が出席した。

③ *fib* 理事会

平成29年6月10日にオランダのマーストリヒトで開催された理事会に、春日昭夫理事が出席した。

④ *fib* 委員会

平成29年2月16日、フランスのパリで開催されたCommission 1に春日昭夫理事が出席し、平成29年6月14日にオランダのマーストリヒトで開催されたCommission1に春日昭夫理事が出席した。また、平成29年6月13日にオランダのマーストリヒトで開催された *fib* モデルコード2020の委員会 (Commission 10) に春日昭夫理事が副委員長として出席した。

⑤ *fib* シンポジウム

平成29年6月12日～14日、オランダのマーストリヒトで開催された *fib* シンポジウムに、本工学会は二羽淳一郎理事を団長、下村 匠理事を副団長として組織された調査団を後援して会員の便宜を図った。調査団の参加は団長以下19名であった。なお、日本からの論文発表は開催国オランダに次ぐものであった。

(12) PC工学会賞選考委員会

第45回(平成29年度)プレストレストコンクリート工学会賞選考のため、3回の委員会を開催した。平成29年度選考より、工学会賞各部門(論文部門、作品部門、技術開発部門、施工技術部門)の名称を、工学会賞各賞(論文賞、作品賞、技術開発賞、施工技術賞)の名称に改め、作品賞には土木部門、建築部門、改築・改修部門の3部門を新たに設けた。平成30年4月4日開催の第3回目の委員会の討議を経て、作品賞4件(土木部門1件、建築部門2件、改築・改修部門1件)、技術開発賞1件、施工技術賞3件を受賞候補に選出し、これを4月度理事会に答申した。なお、論文賞は該当なしであった。

(13) PCアーカイブス委員会準備小委員会

PCアーカイブス委員会の設置が承認され、その活動に向けて準備小委員会を3回開催した。先行している土木学会へのヒアリング、各参加機関におけるPCに関する資料の種類、保管状況等について調査するとともに、委員会の構成メンバーを選出し次年度第1回委員会開催に向けて準備した。

【公募研究委員会】

(1) PC複合津波防災構造委員会

本委員会は、津波から背後地を守るための堤防や防潮堤について、PC複合構造を活用して粘り強さを付与するとともに高耐久化を図ることを目的として平成29年7月より活動を開始した。平成29年度は委員会を1回、幹事会を3回開催し、津波防災の現状や既往の研究事例についてレビューを行った。また、今後の委員会活動の方針について議論した。

【受託研究委員会】

(1) 更新用プレキャストPC床版技術検討委員会(その2)

「更新用プレキャストPC床版技術指針」のさらなる活用や鋼橋床版更新事業の効率的

かつ円滑な推進を図ることを目的に、平成28年度から委員会活動を実施し、平成30年3月に「プレキャストP C床版による道路橋更新設計施工要領」を策定した。策定にあたっては、委員会を3回、現場見学会を1回、幹事会を8回、WGを適宜実施した。

(2) 連続繊維補強材のP C構造物への適用に関する委員会

連続繊維補強材(F R P)の性能および性能照査方法を明らかにするとともに、当該材料をR C、P C構造物に採用する場合の設計・施工指針を作成することを目的に、F R P材料メーカー5社からの委託を受けて平成29年9月に設立した。平成29年度は委員会を1回、幹事会を3回開催し、海外文献・規準の調査、目次案について討議を行った。

5. 講習会等事業

(1) 第45回P C技術講習会

第45回P C技術講習会は、「生産性向上と維持管理・更新の時代に求められるP C技術」をテーマとし、平成29年6月2日(金)東京：江東区文化センターを皮切りに、6月8日(木)大阪：朝日生命ホール、6月13日(火)高松：ホテルパールガーデン、6月14日(水)広島：広島市西区民文化センター、6月16日(金)北海道：ホテル札幌ガーデンパレス、6月21日(水)名古屋：ウインクあいち、6月23日(金)新潟：新潟県自治会館講堂、6月27日(火)福岡：福岡国際会議場、6月30日(金)仙台：イズミティ21、の全国9会場において開催した。参加者は、延べ2,257名であった。

(2) プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム

平成29年10月26日(木)・27日(金)の2日間にわたり、兵庫県神戸市の神戸ファッションマートにおいて、「第26回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」を開催した。

*fib* 会長でマドリード工科大学教授の Dr. Hugo Corres Peiretti氏、一般社団法人神戸港振興協会の森田 潔氏による特別講演と、156題の論文、報告ならびに研究紹介の発表が行われた。また、41団体による技術展示の実施、ワークショップでは2題が報告され、さらには、優秀講演賞17名の表彰を実施した。

参加者は676名で法人正会員、賛助会員のほか、関係諸団体を合わせて52団体から後援があった。

6. 資格認定事業

(1) プレストレストコンクリート技士制度

1) プレストレストコンクリート技士試験講習会

平成29年度のプレストレストコンクリート技士試験講習会を、平成29年9月4日(月)、アルカディア市ヶ谷において開催した。受講者は87名であった。

2) プレストレストコンクリート技士試験

平成29年度のプレストレストコンクリート技士試験を、平成29年10月15日(日)に東京、

大阪、福岡の3会場において一斉に実施した。

受験申込者は340名で、試験の合格者は89名であり、会誌第60巻1号およびホームページに掲載発表した。

### 3) プレストレストコンクリート技士登録

平成29年度標記試験合格者の登録者は89名で、登録更新者は2,097名（更新対象者は2,514名）であった。また、再登録者が27名あり、平成29年度のプレストレストコンクリート技士登録者は合計2,213名となった。その結果、平成29年度末の有資格者（登録者）は5,288名である。

## (2) コンクリート構造診断士制度

### 1) コンクリート構造診断技術講習

コンクリート構造診断士試験に先立ち、受験資格として受講が義務付けられているコンクリート構造診断技術講習をweb上でのeラーニング講習に変更し、平成29年3月1日から6月29日の期間、実施した。受講申込者は、268名で、受講修了者は256名であった。

### 2) コンクリート構造診断士試験

平成29年度のコンクリート構造診断士試験を、平成29年7月9日（日）に東京、大阪、福岡の3会場において一斉に実施した。

受験申込者は321名で、試験の合格者は121名であり、会誌第59巻6号およびホームページに掲載発表した。

### 3) コンクリート構造診断士登録

平成29年度標記登録者はコンクリート構造診断士120名、コンクリート構造診断士補3名であった。コンクリート構造診断士の登録更新者は181名（更新対象者は193名）で、平成29年度末の有資格者（登録者）はコンクリート構造診断士1,192名、コンクリート構造診断士補10名である。

## ○事業報告に係る附属明細書について

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。

平成30年4月

公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会